

インパクト志向金融宣言

第17回ワーキングレベル会合

2025年10月22日 09:30～11:30
オンライン・リアル同時開催

インパクト志向金融宣言

Japan Impact-driven Financing Initiative

本日のアジェンダ

1. 定足数確認、議長選出（決議）
2. 新規加盟機関ご挨拶

1. （第1号決議事項）修正予算の件
2. （第2号決議事項）運営規程改訂の件

3. （第1号報告事項）定義・IMM分科会設置の件
4. （第2号報告事項）各分科会からの報告
5. （第3号報告事項）その他の報告事項
6. （第4号報告事項）PwCプロボノ事業現状報告・人材育成ニーズ

7. （第1号審議事項）人材育成ニーズについて
8. 今後の予定、事務局連絡

定足数確認・議長・副議長選出

- 定足数の確認
- 議長の選出（決議）
 - 運営規程第16条に基づき、運営委員会委員長の議事運営により、総会の議長を選出する。

新規署名機関の紹介

- 署名機関数は74社（署名金融機関66社、署名協力機関8社）

署名日	署名金融機関	署名協力機関
5月1日付	—	PwC Japanグループ
6月1日付	Global Mobility Service 株式会社	—
7月1日付	—	(株式会社 エッジ・インターナショナル)
10月1日付	株式会社 商工組合中央金庫	

議案(2025年10月22日WL会合)

【決議事項】

- (第1号決議事項) 修正予算の件
- (第2号決議事項) 運営規程改訂の件

【報告事項】

- (第1号報告事項) 定義・IMM分科会設置の件
- (第2号報告事項) 各分科会からの報告
- (第3号報告事項) その他の報告事項
- (第4号報告事項) PwCプロボノ事業現状報告・人材育成ニーズ

【審議事項】

- (第1号審議事項) 人材育成ニーズについて

10月年間予算修正案

○収入想定：30,065,000円（特別会計としてJOI関係イベントへの協賛金573,620円）

○修正支出：人件費変更なし。変更あるものは以下

- ・IT関係 30万円 => 40万円
- ・分科会制作物 80万円 => 100万円
- ・予備費 453万円 => 632.5万円

（当初予算費目無し）

- ・消耗品費 10万円
- ・支払報酬料-原稿料 2万円
- ・旅費交通費—近距離交通費 5万円
- ・支払手数料—銀行振込手数料 2万円
- ・調査費（業務委託費）15万円 <=CRMシステムの調査。

なお、事務局の給与について一部無給部分を、別途立ち上げる経営諮問委員会の審議を経て、第4四半期（2026年1月）以降の支出を検討する

10月修正予算案

					4月時点想定	差分		
	想定収入	30,065,000			27,630,000	2,435,000		
	既入金済会費	28,331,000						
	未受領会費	1,050,000	JCR/商工中金					
	印税収入	684,000						
	費目	修正予算（円）	残額	8月末実績	当初予算（円）		説明	1月時点想定
	プロフェッショナルスタッフ人件費(業務委託)	9,654,000	6,860,750	2,793,250	9,654,000			11,000,000
	事務局スタッフ人件費(業務委託)	5,346,000	3,122,972	2,223,028	5,346,000		* 著名機関数増加、会費管理・契約管理増加(業務量一定量増加を想定)	4,000,000
	外部委託費用	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000		*年度後半に研修事業実施を想定	3,000,000
	プログレスレポート作成費用	2,500,000	2,500,000	0	2,500,000		*昨年より制作費用を削減を想定	2,500,000
	ウェブサイト維持費用	200,000	200,000	0	200,000			200,000
	ウェブサイトコンテンツ作成/コンテンツ修正/掲載費用	700,000	700,000	0	700,000		*コンテンツを新規作成し発信を想定	700,000
	IT関係(オンライン会議提供サービス、サーバー等)	400,000	172,229	127,771	300,000		*これまではSIIFが負担	300,000
	分科会制作物作成費用	1,000,000	547,000	253,000	800,000		*20万x4	
	イベントサポート経費	600,000	597,453	2,547	600,000		当日受付・セットアップ等のサポート費用(2万円x2x15回)	
	消耗品費	100,000	(23,610)	23,610				
	支払報酬料-原稿料	20,000	(20,000)	20,000				
	旅費交通費-近距離交通費	50,000	(13,782)	13,782				
	支払手数料-銀行振込手数料	20,000	(6,765)	6,765				
	調査費（業務委託費）	150,000						
	予備費	6,325,000			4,530,000			600,000
		30,065,000	17,636,247	5,463,753	27,630,000			22,300,000
	黒字:変更なし							
	青字：修正あり							
	別会計（イベント開催）							
	（収入）受領協賛金		573,620					
	支出 支払会費(JOI)		360,000					
	イベント関連経費（JOI）		213,620					
			0					

(参考) 4月当初予算

想定収入	27,630,000	12月時点想定	22,300,000	
費目	金額（円）		1月時点	参考（2024年1月～12月）
プロフェッショナルスタッフ人件費(業務委託)	9,654,000		11,000,000	10,611,289
事務局スタッフ人件費(業務委託)	5,346,000	* 署名機関数増加、会費管理・契約管理増加 (業務量一定量増加を想定)	4,000,000	3,542,710
外部委託費用	3,000,000	*年度後半に研修事業実施を想定	3,000,000	6,000,000
プロGRESSレポート作成費用	2,500,000	*昨年より制作費用を削減を想定	2,500,000	3,141,820
ウェブサイト維持費用	200,000		200,000	188,540
ウェブサイトコンテンツ作成/コンテンツ修正/掲載費用	700,000	*コンテンツを新規作成し発信を想定	700,000	—
IT関係(オンライン会議提供サービス、サーバー等)	300,000	*これまではSIIFが負担	300,000	—
分科会制作物作成費用	800,000	*20万x4		
イベントサポート経費	600,000	当日受付・セットアップ等のサポート費用(2万円x2 x15回)		
予備費	4,530,000		600,000	—
	27,630,000		22,300,000	23,484,359
				↑ 監事提出資料

運営規程改訂の件

第32条（経営諮問・評価委員会）

- 宣言行動規範に違反した関係者に対する処分を検討するにあたって事前に必要な諮問を行う機関であるコンプライアンス委員会を拡張し、事務局員等に支給する報酬の水準運営委員長・運営副委員長および事務局長のサクセッションプランその他、運営委員長もしくは副運営委員長が必要と考える人事・コンプライアンス上の課題を諮問する機関として設置

第42条（組織）

/第45条（解散）

- 「組織」及び「解散」に関する規定を運営規程に追加(これに伴う条ずれ)

（別資料）運営規程案

運営規程改訂の件

経営諮問・評価委員会委員
メンバー

[1]既存アドバイザー 3名：

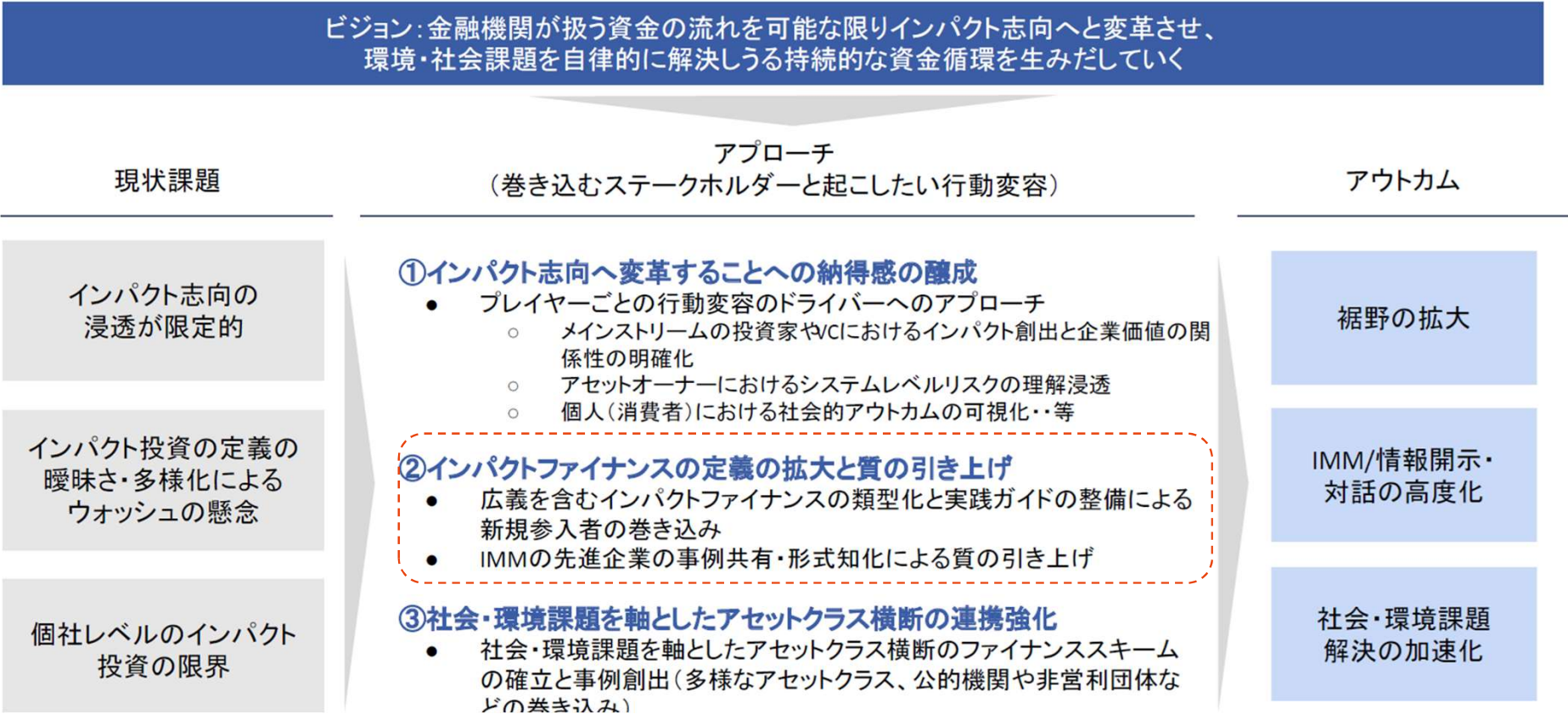
- ①水口剛（高崎経済大学学長）、
- ②木村武（PRI理事）、
- ③大野美希子（IAASB理事）、

[2]外部有識者2名

- ④古澤知之（IAASB及びIESBAの基準設定活動を監視するPublic Interest Oversight Board（公益監視委員会）委員 元金融庁企画市場局長）
- ⑤片山達（弁護士、アンダーソン毛利友常法律事務所外国法共同事業、元国際法曹協会 Capital Markets Forum 共同議長、元・日本弁護士連合会国際室長）

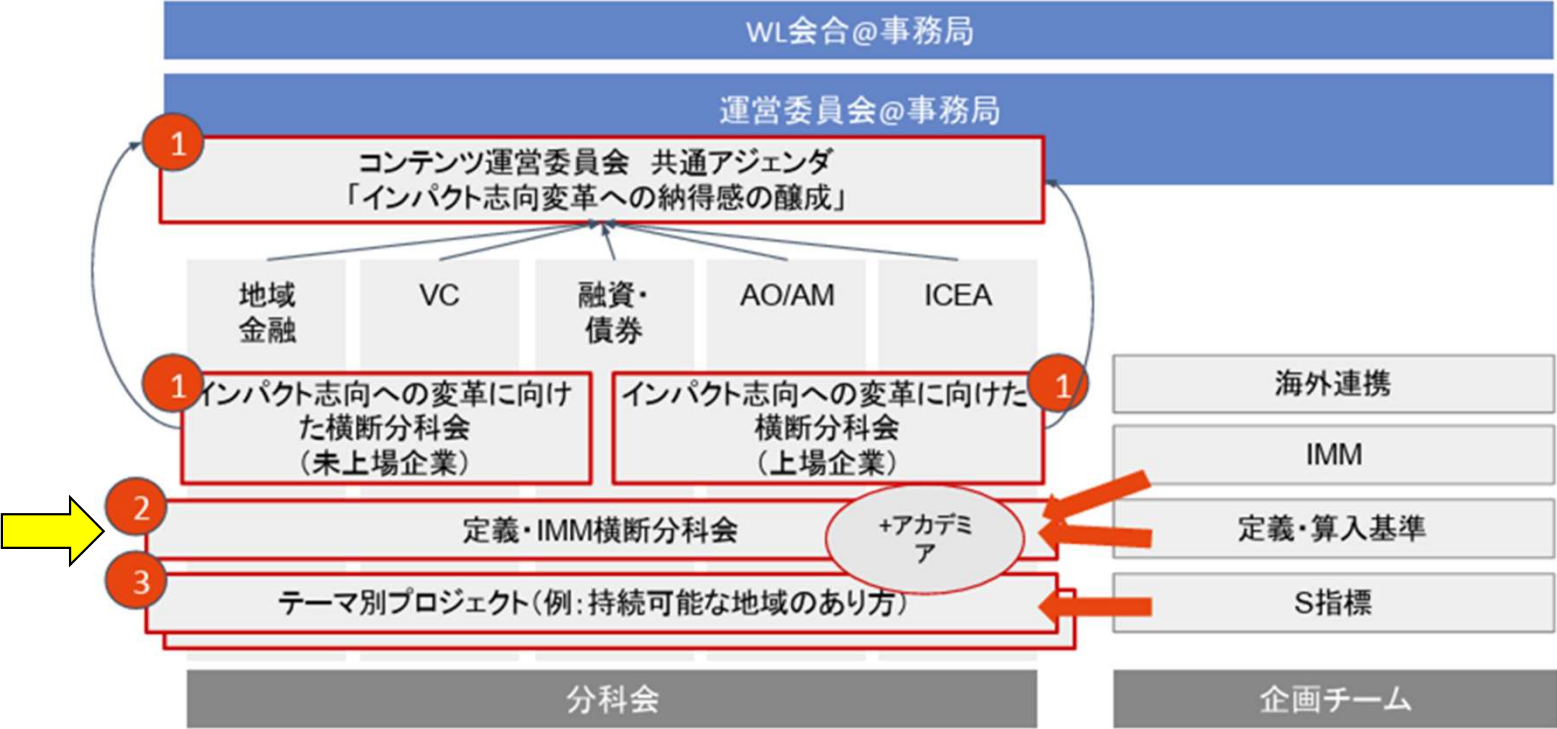
定義・IMM分科会設置の件

IDFIのTheory Of Change (概要版)



定義・IMM分科会設置の件

- テーマ①: 上場企業+上場を目指す企業に関して検討する分科会と、未上場企業に関して検討する分科会とに分けて、両者の意見をコンテンツ委員会にて意見を持ち寄り、事務局を中心に取りまとめ
- テーマ②: 従来のIMM+定義・算入基準+各アセットクラスの有識者を中心に新規横断分科会を組成
- テーマ③: 持続可能な地域のあり方をテーマに、まずはサブプロジェクトを組成しスモールスタート。 S指標分科会もここに統合



企画チーム・分科会活動報告

分科会	座長
地域金融	金井さん/鄭さん
ソーシャル指標	松原さん/石井さん
VC	堤さん/秦さん
AO/AM	安間さん//宮本さん/坂本さん
融資・債券	末吉さん/清水さん/橋爪さん
ICEA	安間さん

セミナー・イベント（開催済：7/12～10/21）Japan Impact-driven Financing Initiative

主催/共催イベント

日付	タイトル	登録人数 (リアル/オンライン)	動画
7月24日	インパクト志向金融宣言&インパクト投資運用原則 ランチ&ラウンドテーブル	99(63／33)	あり
7月24日	「インパクト情報に基づくエンゲージメントの将来～報告規範の活用～」座談会	140(70／70)	
7月28日	βアクティビティズムセミナー	JOI集計	あり
9月11日	リアルアセット x インパクト	164(41／123)	あり
9月17日	【署名機関向け】インパクト志向金融宣言を詳しく知る・参加するためのウェビナー①-1	31(オンラインのみ)	あり
9月30日	【署名機関向け】インパクト志向金融宣言を詳しく知る・参加するためのウェビナー①-2	32(オンラインのみ)	あり
10月14日	アジアにおけるサーキュラーエコノミーを考える～最先端のファンド事例から～ Seminar on Circular Economy in Asia	集計中	

セミナー・イベントの予定

主催/共催イベント

10月14日	アジアにおけるサーキュラーエコノミーを考える～最先端のファンド事例から～ Seminar on Circular Economy in Asia、Ciruculate Capital のCEO Mr. Robert Kaplan	宣言主催
10月22日	インパクトスタートアップの成長と 更なるインパクト創出への課題解決に向けて	宣言主催/住友生命協賛・協力
10月27日	アメリカにおける環境政策のゆくえとサステナブル・ファイナンスに与える影響（東京大学/JSIF 御代田氏）	宣言主催
11月12日	長期的価値創造に向けて、企業と金融が取り組むべき方向性とは？（FCLT Global）	宣言主催

その他の報告事項

- 予算執行状況
- GIINフォーラムについて
- プロボノサポーターについて
- プログレスレポートの作成スケジュール

収支の状況（2025.9月末）

収入（2025年4月～9月30日）

<監事提出版>

2025.9.30時点

収入	29,602,079
会費収入	28,331,000
印税収入	684,000
イベント協賛金	573,620
受取利息	13,459

今後支払い予定

- 商工中金（10月署名、11月支払い予定）

未払い組織

- JCR（10月に社内調整予定）

収支の状況（2025.9月末）

支出（2025年4月～9月30日）

会計小科目	支出金額	(A)
業務委託費－人件費P	2,793,250	
業務委託費－人件費s	2,223,028	
広報費用－制作物作成費用	253,000	
通信費	127,771	
消耗品費	26,910	
支払報酬料-原稿料	20,000	*R&Iに支払済
旅費交通費－近距離交通費	13,782	
支払手数料－銀行振込手数料	6,765	
会議費-イベント用飲料	2,547	
支払会費	360,000	*JOI会費 協賛金にて相殺
仮払金	3,300	
イベント関連経費	213,620	*JOI共催イベント同時通訳飲食 協賛金にて相殺
総計	6,043,973	(B)
収支差額	23,558,106	＜＝9月30日時点の口座残高と一致
予算執行率 (B)/(A)	20.42%	

その他の報告事項

- GIINフォーラムについて

<プロボノサポーター一覧>

お名前	肩書・ご経歴	備考
鈴木善博氏	元アレグロ社（米国の半導体会社） 社長	インパクトと企業価値の 関係性およびインパクト 可視化に関心
香川陽子氏	元世界銀行・Veritas Global Communications 代表	S指標分科会に参加
佐藤真陽氏	一橋大学大学院博士課程	S指標分科会に参加

プロGRESSレポート作成時期について

現 状

- 発行時期：1月
- 対象期間：10月～9月
- 残高：6月末（但し3月末が多い）
- 残高提出締切り：10月末

課 題

- 年度と対象期間が違いため、年度の成果との差異が存在
- 自走化後の予算年度が変更
 - 暦年から4月～3月へ
- 残高時点が複数存在

現 状

- 発行時期：7月か8月＜＝要検証
- 対象期間：4月～翌年3月（予算年度）
- 残高：3月末

*但し、事業報告（残高除く）は4月の年次総会にて承認（運営規程第15条第7項）

PwCプロボノ事業現状報告・人材育成ニ ーズ アンケート結果

別紙

人材育成ニーズアンケート結果を受けた ディスカッション

- アンケート結果についてどのような感想を持ったか？（同意できる点、違和感を持った点）
- 必要であるとされた「基礎的な研修」について、自身が行っているアセットクラスを想定するとどのような研修が必要か？
- 「経営層の関与」について、非営利・第3者であるインパクト志向金融宣言が何か取り組むことにより、理解を向上させることができるか。それはどのようなものか（例：経営層による座談会）

アセットクラス毎に分かれてディスカッションしてください
（署名協力機関の方は、関連の深いグループに入ってください）

ディスカッション後、共有の時間を設定します

人材育成ニーズアンケート結果を受けた ディスカッション

リアル参加

アセットオーナー

アセットマネジメント

VC①

VC②

銀行①

銀行②

オンライン参加

アセットオーナー①

アセットオーナー②

アセットマネジメント

VC①

VC②

銀行①

今後の予定、事務局連絡

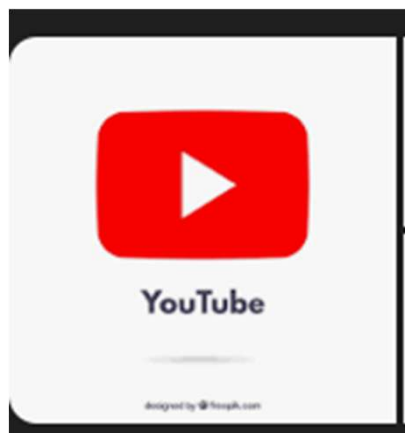
■ 今後のワーキングレベル会合

2026年 1月23日（金）

2026年 4月23日（木）

2026年 7月23日（木）

オウンドメディア



インパクト志向金融宣言